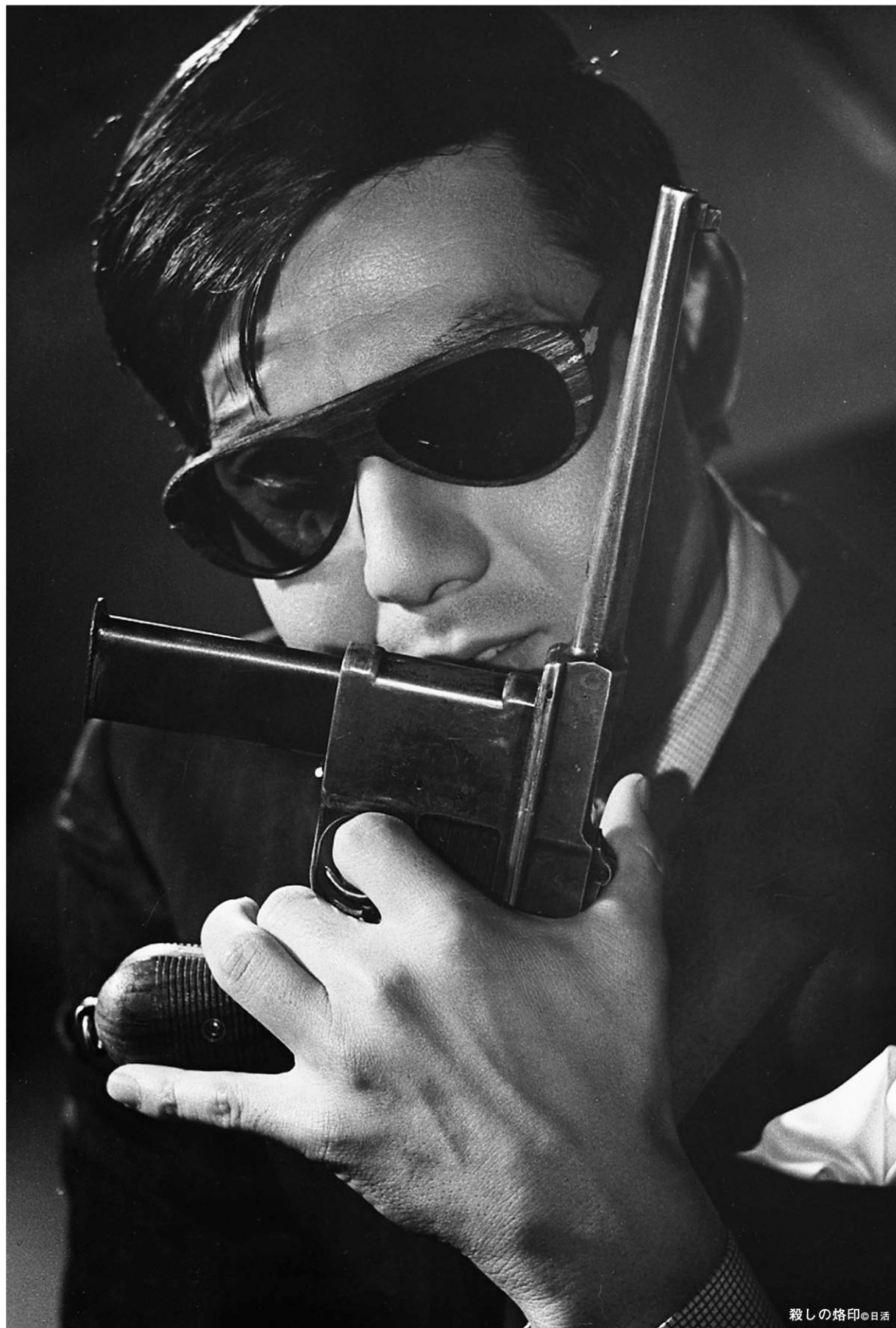


特別企画

鈴木清順監督特集

昨年亡くなった鈴木清順監督の追悼上映



特別
企画

鈴木清順監督特集

昨年亡くなった鈴木清順監督の追悼上映

会期:5月2日(水)~5月25日(金) ※休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)



3(木・祝) 11:00/10(木) 14:00/19(土) 11:00

野獣の青春

とある街にジョーと名乗る凄腕の男がやってくる。ジョーは盛り場のチンピラを叩きのめしヤクザの野本組の用心棒となる。ところがジョーは野本組と対立する三光組にも取り入り、二つの組をわざと争わせる。そしてジョーは野本組には麻薬取引につながるコールガールの組織があり、それを影の人物が仕切っていることを突き止める。

大藪春彦の「人狩り」を原作とした作品。ジョーの正体は何者なのか。一体何をしようとしているのか。ミステリアスでハードボイルドな作品であり、見事なテンポで展開するアクション映画。主演・穴戸錠のクールな演技はアメリカ映画のような錯覚を覚えさせる。また野本組や三光組の事務所の凝った仕掛けなどディテールが素晴らしい。鈴木清順監督が一躍当時の映画ファンに注目されることになった傑作。



監督:鈴木清順 出演:穴戸錠 渡辺美佐子
1963年/35ミリ/カラー/91分/日活

3(木・祝) 16:30/10(木) 11:00/18(金) 11:00

暗黒街の美女

三年間の刑務所生活を送った宮本は盗んだダイヤを手にする。しかしギャングの大矢根はダイヤを奪おうと宮本を追い詰める。やむなく宮本の仲間の三原は宝石を飲み込んだままビルから落ちて死んでしまう。鈴木清順監督のデビューは56年の日活映画「港の乾杯 勝利をわが手に」だが、その時の名前は本名の鈴木清太郎。本作から鈴木清順の名前を使用する。ダイヤをめぐる奇想天外な展開が見事な作品。



監督:鈴木清順 出演:水島道太郎 白木マリ
1958年/35ミリ/モノクロ/87分/日活

3(木・祝) 14:00/11(金) 11:00/19(土) 14:00

悪太郎

大正時代。紺野東吾は素行不良のため「悪太郎」と言われ神戸の学校を辞めさせられる。母の知人の校長がいる兵庫・豊岡中学に転校した東吾の悪名はすぐに広がり、5年生の風紀委員と対立するのだが、いつも東吾の屁理屈で風紀委員の方がやり込められるのだった。今光東の自伝的な同名小説の映画化で大正時代の雰囲気伝える爽やかな青春映画。正攻法の文芸映画であり、監督自身が「これは傑作」と語っている。



監督:鈴木清順 出演:山内賢 和泉雅子
1963年/35ミリ/モノクロ/95分/日活

4(金・祝) 11:00/11(金) 14:00/20(日) 11:00

関東無宿

伊豆組と新興ヤクザの古田組は土建業の請負をめぐって一触即発の状態だった。伊豆組の幹部・鶴田は、古田組の子分・ダイヤモンドの冬との確執を取めるように命じられるのだが…。鈴木清順初の仁侠映画。やくざの掟に反抗しながらもそこから逃れられない男の悲劇の宿命を、清順美学による映像美で描いている。美術監督・木村威夫の業績も大きく、単なる仁侠映画に取まらない実験的作品となった。



監督:鈴木清順 出演:小林旭 伊藤弘子
1963年/35ミリ/カラー/92分/日活

4(金・祝) 14:00/12(土) 14:00/25(金) 11:00

河内カルメン

河内の農村の娘・露子はその豊かな肉体で村の男たちの人気者。大阪に出てきた露子はバーに勤める。その後露子はファッションモデルとして誘いを受け、デザイナーの鹿島洋子の家に住んでレッスンを受ける。今東光の同名小説の映画化。セクシーな女性が様々な人物に出会いながら逞しい女性へと成長する様を描いたヒット作。「肉体の門」「春婦傳」「河内カルメン」は女性映画三部作と言われている。



監督:鈴木清順 出演:野川由美子 和田浩治
1966年/35ミリ/モノクロ/89分/日活

4(金・祝) 16:30/12(土) 11:00/23(水) 11:00

東京流れ者

ヤクザの大塚組は倉田組のビルを狙い、倉田が借金をしている吉井商事に目をつける。しかし大塚組にとって問題なのは倉田組の本堂哲也、別名「不死鳥の哲」だった。日活ニューフェイスだった渡哲也を売り出すための映画で、ヒット曲「東京流れ者」が何度も映画の中で流れる。少ない予算を逆手に取った簡素なセット、原色を強調した照明など監督の独自の美意識があふれており、「殺しの烙印」と並んで海外で高く評価された。



©日活

監督：鈴木清順 出演：渡哲也 松原智恵子
1966年/35ミリ/カラー/82分/日活

5(土・祝) 14:00/16(水) 11:00/24(木) 14:00

けんかえれじい

昭和10年頃。岡山の中学生・南部麒六は毎日喧嘩に明け暮れていた。しかしそんな彼も女学生の道子には頭が上まらない。ある日軍事教練で軍人になってついで南部は学校にいらなくなり、会津の喜多方中学に転校する。当時22歳の高橋英樹が硬派な主人公を演じ、彼の代表作となった。当時の中学生の雰囲気がよく表れており娯楽作品としても十分楽しめる。リリシズム溢れる青春映画であり、鈴木清順監督の傑作の1本。



©日活

監督：鈴木清順 出演：高橋英樹 浅野順子
1966年/35ミリ/モノクロ/86分/日活

5(土・祝) 11:00/16(水) 14:00/23(水) 14:00

殺しの烙印

殺し屋ナンバー3の花田は組織から4人の男の殺しを依頼される。最後の一人の殺しに失敗した花田は組織から狙われ、妻の真美までが花田を殺そうとする。そして殺し屋ナンバー1が花田を殺しにやってくる。一種のギャング映画だが、その範疇を超えた実験的な作品。延々と続く殺し合いや過激な男女の愛が斬新な映像で描かれ、ジム・ジャームッシュやウォン・カーウアイなど世界中の監督たちに支持された。※15歳未満の方は鑑賞できません。



©日活

監督：鈴木清順 出演：穴戸錠 小川万里子
1967年/35ミリ/モノクロ/91分/日活

5(土・祝) 16:30/17(木) 11:00/24(木) 11:00

悲愁物語

日栄レーヨン社長は新しい広告を作るための目玉となるタレントの発掘を命じる。広告代理店の田所はプロポーション抜群のプロゴルファー・桜庭れい子に目を付け、れい子の恋人で雑誌編集長の三宅に、れい子を女子プロ選手権で優勝させるように依頼する。日活解任後、鈴木清順監督が10年ぶりに監督した作品。スポ根映画の要素も取り込んでいるが、清順美学による映像がいたるところで見られる。※15歳未満の方は鑑賞できません。



©1977松竹

監督：鈴木清順 出演：白木葉子 原田芳雄
1977年/35ミリ/カラー/93分/松竹

2(水) 14:00/6(日) 14:00/18(金) 14:00

ツイゴイネルワイゼン

青地と中砂は旅先で芸者の小稲と出会う。1年後中砂が結婚した女性・園は小稲にそっくりだった。園は豊子を産んで亡くなる。そして小稲が豊子の乳母となるのだった。内田百閒の小説などを元にした作品。現実とも幻想ともつかない極彩色の映像美の世界が描かれている。キネマ旬報ベストワン、日本アカデミー賞最優秀作品賞、ベルリン映画祭審査員特別賞などを受賞し、鈴木清順監督の代表作となった。



監督：鈴木清順 出演：原田芳雄 大谷直子
1980年/35ミリ/カラー/144分/シネマ・ブラセット

9(水) 14:00/13(日) 14:00/20(日) 14:00

陽炎座

大正末期。新派の劇作家・松崎春孤は品子という女性に出会う。その後も偶然品子と出会い、夜を共にする。その後松崎は彼のパトロンである玉脇の妻イネと出会うが、イネは品子にそっくりだった。泉鏡花の同名小説の映画化。鈴木清順作品の大ファンだったという松田優作を主演に据え、前作「ツイゴイネルワイゼン」以上に妖艶で耽美的な世界が展開される。



©1981 写真提供：リトルモア

監督：鈴木清順 出演：松田優作 大楠道代
1981年/35ミリ/カラー/139分/シネマ・ブラセット

2(水) 11:00/6(日) 11:00/17(木) 14:00

夢二

画家・竹久夢二は駆け落ちした恋人の彦乃と金沢で落ち合う約束をしていたが、彦乃は現れない。夢二は人を殺した男・鬼松が山に逃げ、山狩りが行われていることを知る。鬼松に殺された夫の死体を湖で探す巴代の美しさに夢二は惹かれていく。芸術に苦悩し色香を漂わせる竹久夢二を歌手・沢田研二が演じる。紅葉の金沢を舞台に幻想的な物語が展開する。「太陽を盗んだ男」の監督・長谷川和彦が鬼松役で出演しているのも見もの。



©1991 写真提供：リトルモア

監督：鈴木清順 出演：沢田研二 穂谷友子
1991年/35ミリ/カラー/128分/荒戸源次郎事務所

9(水) 11:00/13(日) 11:00/25(金) 14:00

オペレッタ狸御殿

この世で一番でなければ気がすまないがらさ城の城主・安土桃山は、ひるぜん婆の予言により、世継ぎの雨千代の美貌が勝っていることを知る。安土桃山は雨千代を捨てるように命じるが、雨千代は狸御殿の狸姫に助けられる。そして二人は恋に落ちる。狸姫を演じるチャン・ツイイーは中国映画「初恋のきた道」で知られる中国を代表する女優で、これが日本映画初出演。絢爛豪華なミュージカル映画で、鈴木清順監督の遺作となった。



©2005「オペレッタ狸御殿」製作委員会

監督：鈴木清順 出演：チャン・ツイイー オダギリ・ジョー
2005年/35ミリ/カラー/109分/松竹



鈴木清順監督特集

1	火	休館日		
2	水	11:00 夢二	14:00 ツイゴイネルワイゼン	
3	木祝	11:00 野獣の青春	14:00 悪太郎	16:30 暗黒街の美女
4	金祝	11:00 関東無宿	14:00 河内カルメン	16:30 東京流れ者
5	土祝	11:00 殺しの烙印	14:00 けんかえれじい	16:30 悲愁物語
6	日	11:00 夢二	14:00 ツイゴイネルワイゼン	
7	月	休館日		
8	火	休映日		
9	水	11:00 オペレッタ狸御殿	14:00 陽炎座	
10	木	11:00 暗黒街の美女	14:00 野獣の青春	
11	金	11:00 悪太郎	14:00 関東無宿	
12	土	11:00 東京流れ者	14:00 河内カルメン	
13	日	11:00 オペレッタ狸御殿	14:00 陽炎座	
14	月	休館日		
15	火	休映日		
16	水	11:00 けんかえれじい	14:00 殺しの烙印	
17	木	11:00 悲愁物語	14:00 夢二	
18	金	11:00 暗黒街の美女	14:00 ツイゴイネルワイゼン	
19	土	11:00 野獣の青春	14:00 悪太郎	
20	日	11:00 関東無宿	14:00 陽炎座	
21	月	休館日		
22	火	休映日		
23	水	11:00 東京流れ者	14:00 殺しの烙印	
24	木	11:00 悲愁物語	14:00 けんかえれじい	
25	金	11:00 河内カルメン	14:00 オペレッタ狸御殿	

26土 自主上映／内容は6月号に掲載します。
27日 自主上映／福岡映画サークル協議会例会

28月 休館日
29火・30水 休映日
31木 休館日

鈴木清順監督

1923年東京生まれ。青森の旧制弘前高等学校(現弘前大学)に入学するが、43年学徒出陣にて軍隊に入り、46年復員後48年に高校卒業。松竹大船撮影所に入り、助監督となる。同期に松山善三、中平康等がいる。54年戦後製作を再開した日活に移籍。助監督として主に野口博志監督に師事。56年「港の乾杯 勝利をわが手に」で監督デビューするが、この時の監督名は本名の鈴木清太郎だった。58年の「暗黒街の美女」から鈴木清順に改名。次第に鈴木清順監督の独特の美学による凝った演出により注目を集めていく。特に63年からの作品は熱狂的なファンを獲得していく。しかし67年の「殺しの烙印」が日活・堀久作社長の逆鱗に触れ、翌年契約を打ち切られる。77年松竹の「悲愁物語」で劇場映画の監督に復帰。以後80年「ツイゴイネルワイゼン」が大評判となり、また俳優としても活躍するようになる。「殺しの烙印」等の作品は海外で評価が高く、ジム・ジャームッシュなど世界中の監督達はその独特の映像美を賞賛しており、日本映画界で特異な地位を獲得。遺作となった05年の「オペレッタ狸御殿」はカンヌ国際映画祭・榮譽上映特別招待作品として上映された。17年慢性閉塞性肺疾患のため死去。90年紫綬褒章、96年勲四等旭日小綬章を受章。



「東京流れ者」演出中の鈴木清順監督(左) ©日活

自主上映のお知らせ

5月27日(日) 福岡映画サークル協議会例会

内容は6月号に掲載します。
主催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817
※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ
うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

第388回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆
日時：2018年4月9日(月) 12:00~13:00 ※入場無料
場所：西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
曲目：ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第9番 八長調 Op.59-3 他
演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団
主催：西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(TEL.092-473-6777)

